(4 月 25 日）：大型株が南北両指数を押し下げた

ホーチミン取引所―大型株が下落して終え、南北両取引所ともに下落して取引を終えた。

投資家は今週警戒感を高めており、直近のさえない取引を引き起こしている。

ホーチミン取引所の VN 指数は 2.79 ポイント（0.29%）下落し 974.13 ポイントで取引を終えた。上昇した銘柄が 108 銘柄に対し下落した銘柄が 166 銘柄だった。

出来高は 1 億 4900 万株で売買代金は 2.9 兆ドンであった。前日比 11%と 5%上昇した。相対取引で 3670 万株、8440 億ドンほど取引された。

多くの大型株は 1%弱であるが値下がりした。ベトコムバンク（VCB）、ベトナム産業貿易商業銀行（CTG）、VP バンク（VPB）,サコムバンク（STB）、TP バンク（TPB）などの銀行株とバオベトホールディングス（BVH）、PV パワー（POW）は 1.03-1.66%値下がりした。

ビンホームズ（VHM）、ペトロベトナムガス（GAS）、ベトジェット航空（VJC）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPT グループ（FPT）などは上昇して終えたが 1%未満の上昇だった。

0.16%下落し 30,650 ドンで取引を終えた FLC ファロス建設（ROS）が最も取引された。出来高は 770 万株であった。それに次いでホアファットグループ（HPG）は 400 万株ほど取り引きされ 0.75%下落し 33,100 ドンで取引を終えた。

小型株の中では、ホアンアインザライ（HAG）とホアンアインザライ国際農業（HNG）が 2.97%と 0.32%上昇し 5,550 ドンと 15,450 ドンで取引を終えた。

HNX 指数は 0.19%下落し 106.93 ポイントで取引を終えた。70 銘柄が上昇し 85 銘柄が下落した。出来高は 3530 万株で売買代金は 2462 億ドンであった。

PVI ホールディングス（PVI）は 1.91%下落し 41,000 ドンで取引を終えた。アジアコマーシャル銀行（ACB）、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ビコストーン（VCS）、ティエンフォン・プラスチック（NTP）などは 1%以下だが下落した。

大型株の中でビグラセラ（VGC）だけが値上がりし 1.57%上昇の 19,400 ドンで取引を終えた。

流動性は中水準で、PVS と SHB などは 100 万株以上が取り引きされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。